

■ブラジル：ブラジル大停電、事故原因は送電線トラブルと報道

ブラジルで2009年11月10日22時20分頃、リオデジャネイロを中心に大規模な停電が発生した。原因は、イタイプ水力発電所（定格出力1,400万kW）につながる送電線に何らかのトラブルがあったものと推定されている。なお同発電所は、パラグアイとの国境地帯にある世界第2位の規模の水力発電所である。ブラジル鉱業・エネルギー省エジソン・ロバン大臣によると、停電規模は1,700万kWで、停電の被害を受けた地域はブラジル26州のうち、リオデジャネイロやサンパウロなど7都市を含む18州。またパラグアイでも約15分にわたり国土全体が一時的に停電した。